「月刊伝勇伝」とは

描き下ろしイラストや、ここでしか見られない最新情報などを
毎月お届けする伝勇伝オリジナルマガジン！
毎月お楽しみに！

10月22日（金）Blu-ray&DVD 第1巻同時発売決定!!

発売元：ティー・オーエンタテインメント
販売元：メディアファクトリー
Blu-ray版：第1巻　2話収録／6,800円(税抜)
DVD版：第1巻　2話収録／5,800円(税抜)

豪華特典が満載！

■ Blu-ray限定特典[各巻]

① 「忘却欠片〈ルール・フラグメ〉CD」(第1巻はドラマCD)
※DVD版にはCD特典は付属されません

■ BD&DVD共通初回特典[各巻]

① 鏡貴也書き下ろし新作小説付き 48P特製ブックレット「ライナノート」(とよた瑣織描き下ろしジャケット、設定資料集など収録)
② BOXパッケージ（島沢ノリコ描き下ろしジャケットイラスト使用）
③ スペシャル特典「アルカナカード」(2枚組)
④ スーパーピクチャーレーベル

■ BD&DVD 共通映像特典[第1巻]

ノンクレジットOP

※仕様は変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

とよた瑣織描き下ろしイラスト

モバイル公式サイトが完成!

最新ニュースをはじめ、『伝勇伝』の魅力を随時を紹介！ 情報料：無料
http://www.denyuden.jp/
※本サイトをご利用になる際は、別途パケット通信料がかかります。

メルマガ会員募集中!

メールマガジン会員を募集中！ 携帯からも PC からも登録可能。お得な情報や先だし情報など、盛りだくさん。伝勇伝ファンなら是非登録してみてください。発行は不定期です。

WEBラジオ情報

毎週金曜日配信中! 配信：ランティスネットラジオ／インターネットラジオステーション<音泉。>／アニメイト TV
出演：福山潤・高垣彩陽・小野大輔

SNSロールプレイングゲームスタート!

『伝説の勇者の伝説』SNS RPGアプリ
9月スタート予定！

ラジオCD発売決定!

絶賛配信中の WEB ラジオ『伝説の勇者の伝説のラジオ』の完全録り下ろしラジオCDが、8月13日のコミケ限定で発売されます！

TVアニメ『伝説の勇者の伝説』公式サイト http://www.denyuden.jp/

STAFF 原作：鏡貴也／キャラクター原案：とよた瑣織／監督：川崎逸朗
シリーズ構成：吉村清子／キャラクターデザイン：島沢ノリコ／アニメーション制作：ZEXCS

CAST ライナ・リュート：福山潤／フェリス・エリス：高垣彩陽／シオン・アスタール：小野大輔／キファ・ノールズ：大浦冬華
イリス・エリス：村田知沙／ルシル・エリス：杉田智和／ミルク・カラード：藤田咲／ミラン・フロワード：諏訪部順一
クラウ・クロム：伊丸岡篤／ルーク・スタッカート：日野聡／カルネ・カイウェル：沢城みゆき／リーレ・リンクル：岡本信彦
ラッヘル・ミラー：増谷康紀／エスリナ・フォークル：竹達彩奈／ノア・エン：高橋美佳子

月刊『伝説の勇者の伝説』第４号
平成22年８月７日発行　毎月１回
発行所：伝勇伝製作委員会
イラスト：島沢ノリコ
編集：山崎香弥（ユークラフト）
デザイン：高木信義

©2010 鏡貴也 / 伝勇伝製作委員会
※本誌掲載の記事の無断転載を禁じます。

編集後記

梅巻子です！　4号フロワード特集いかがだったでしょうか？　8月に入り大活躍のフロワードに是非注目してくださいね。さて、大ニュースです！　8月28日(土)にメルマガ会員限定イベント第2弾の開催が決定!!　原作者の鏡先生と福山潤さんが登場する他、多数のプログラムを予定。応募方法はメルマガにて配信されていますので、公式HPより急いで登録してくださいねー！

伝勇伝オリジナルマガジン

月刊 伝説の勇者の伝説

The Legend of the Legendary Heroes

第４号

2010年10月22日(金) BD&DVD第1巻発売決定！

テレビ東京ほかにて絶賛放送中！

テレビ東京：毎週木曜日　深夜2時15分～
テレビ大阪：毎週金曜日　深夜3時05分～
テレビ愛知：毎週水曜日　深夜2時58分～
AT-X：毎週月曜日　8時30分／20時30分～
毎週木曜日　14時30分／26時30分～

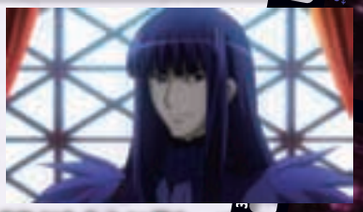
ミラン・フロワード役
諏訪部順一
コメント掲載！

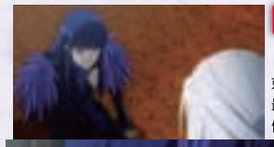
FREE

All of Froward —フロワード大全—

Act.1 ／出会い

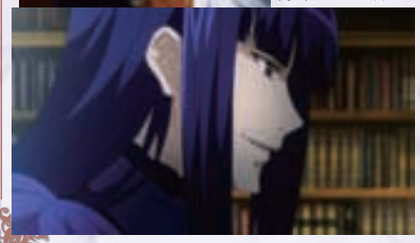
シオンとフロワードの出会いは突然だった——。シオンの執務室で待ち受けていたフロワードは、おもむろに自己紹介を始める。しかし、シオンはフロワードのことを知っていた。今は亡き、フィオルからの情報を得ていたのだ。「何の用だろう」とたずねるシオンに彼はこう言った。





「私があなたに代わって、闇を担いましょう」

束の間の腹のさぐり合い。しかし最終的に、シオンはフロワードを側に置くことを決めたのだった。



Act.2 OPカット

Act.3 ／設定

［謎の指輪］

フロワードがいつも身につけている黒い指輪。『勇者の遺物』と何か関係がありそうだが……？

［髪］

腰のあたりまであり、キレイになでつけられている。クセのないストレートの髪の色は漆黒。

［年齢］

シオンより少し上の22歳から23歳くらい。しかし、その冷徹な雰囲気から、もう少し年上に見える。

［体型］

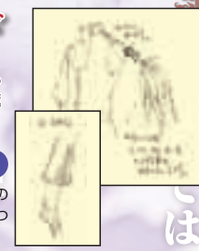
全体的に、線の細い印象。華奢、というよりも不健康という感じに見えるのは、彼の印象のせいか。

［身長］

クラウ・クロムとほぼ変わらないくらい。しかし、スラッとしているフロワードの方が、若干高く感じる。

ミラン・フロワード

シオンを自らの王に相応しいと判断し、彼の側近に志願した。非常に有能で頭も切れるが、任務を達成する手段は卑劣極まりない。



［服装］

漆黒の髪と同じような、黒い色の服装を好んでいるようだ。肩についている羽根の装飾が気になる。

［瞳］

他者をすべて見下すような、切れそうなほど冷たい印象を与える瞳。濃紺の色が彼の闇を強調している。

［口元］

キリッとした口元だが、シオンに関しては微笑を浮かべることも。しかしその微笑すら冷たい印象。

［表情］

かなり整った顔立ちだが、その表情がいつも闇をたたえているため、その美しさに気づく者は少ない。

諏訪部順一 コメント

Junichi Suwabe

諏訪部さんから貴重なコメントを入手！　フロワードの印象や魅力を語っていただきました。

——まず始めに、フロワードのビジュアル（絵）を見た際の第一印象を教えてください。

率直な印象は「美形！」そして「めっちゃ髪サラサラや〜ん！」ですね（笑）。その目つきからして、間違いなくタダモノではありませんから。何かしら邪悪な力や野望を秘めている感がムンムンで、言葉が悪くて大変恐縮ですが、これは「オイシイ」役を演じさせてもらえるぞ！　と、非常に嬉しく思いました。

——では、実際に演じてみて「印象が変わったな」と思う部分はありましたか？

初登場の際、事前に細かい指定はなく、まずは思ったように演じてみて、という感じだったのですが、大きく修正が入ることはありませんでした。ですので、イメージが変わったということは特にありませんね。想像通り、いい感じにイヤな感じです（笑）。

——逆に、「見た目通りじゃん！」と思った部分はありましたか？

全部、ですね（笑）。

——人気のあるフロワードですが、彼の魅力はどこにあると思いますか？

目的のためなら手段を選ばない彼のスタイルは、ある意味とてもシンプル。それ故に、潔さのようなものを感じるんですよね。きれいごとや建前を排して生きるって、そうできることじゃないですから、魅力的です。もちろん美麗な容姿も人気の理由かと（笑）。

——本作品の魅力を教えてください。

やはり、個性豊かなキャラクターがたくさん登場するのは魅力的ですね。彼らがどのような物語を織り成していくのか、とても楽しみです。

——本作品への意気込みを教えてください。

心を込めて、フロワードをより多くのみなさんに気に入っていただけるよう頑張りたいと思います！

——最後に『伝勇伝』のファンの方に向けてアニメのアピールと、メッセージをお願い致します。

画が動きます！　音が出ます！　とにもかくにもぜひ観てください！　そして、作品としての評価は最終回までご覧くださったあとで。どうぞよろしくお願いします！

諏訪部順一 すわべ・じゅんいち

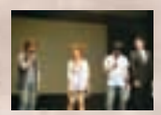
【所属】東京俳優生活協同組合
【主な出演作】学園黙示録 HIGHSCHOOL OF THE DEAD（小室孝）、鋼殻のレギオス（サヴァリス・クォルラフィン・ルッケンス）など多数

Event Report —第1話先行上映会レポート—

2010年6月26日に行われた、第1話先行上映会の様子を写真で紹介！　福山さん、小野さん、高垣さんから上映会の感想もいただきました！

▲本番終了後の集合写真。みなさん良い笑顔です！

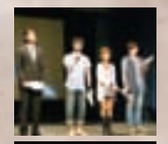
【福山さんコメント】　いや〜今回は上映会というだけでなく、『伝勇伝』のイベントとして、大変完成されたステージになったのではと思うくらい、楽しいステージでした。司会の儀武ゆう子さんの誘導もあって、我々があおる必要がないくらい、お客様も盛り上がっていただいて、しかも我々や作品にアツい声援を送っていただて。本当にこれからのオンエアに勢いがつくような、とても良い上映会になったと思います！

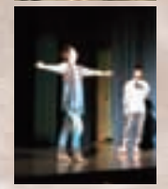


▲リハーサルは絶えず笑い声が響いていました。本番はもっと楽しくなる予感……！

【小野さんコメント】　時間を忘れるくらい楽しいイベントでした。それでも、第1話が初めて人の目に触れるということで、会場に来るときは「楽しい」というよりも「緊張感」の方が勝っていたと思うんです。でも、会場入りしたら、みんなお祭り騒ぎになっちゃって（笑）。それって、『伝勇伝』が良い作品であると同時に、みんなが好きな作品だからこそ、こんなに盛り上がれたんだと思います。改めて『伝勇伝』って良いなって。さらに言うと、この作品が好きだなと再確認できました。本番でも言いましたが、この作品を本当に伝説にしていきたいなと思っています。

【高垣さんコメント】　今日は本当にありがとうございました！　打合せの段階から楽しかったんですが、本番はもっと楽しくて面白い時間が過ごせて。こんなにもお客様と関係者陣、そして出演者もみんな心がひとつになって作られた空間なんだなって。『伝勇伝』にとって良いスタートになったと思います。この作品は、第1話のような楽しいシーンばかりじゃないですが、楽しいシーンもツラいシーンも、目をそらさずに見ていただけたら嬉しいです。そしてラジオの方も応援していただけたらと思います！





▲本番中にカッコいい立ち方をする小野さん。ラジオ用のSEを録音しているときですね。

▲上映会のシメ！　会場のみなさんも一緒に、えい・ゆう・おー！